

第4回門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会 議事録

日時 令和5年7月18日(火)午後1時00分～午後5時30分
場所 門真市教育センター 会議室B

(事務局)

ただ今より第4回 門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を開催いたします。
本日も公務ご多用の中ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。
では、まず初めに選定委員会委員長よりご挨拶のほどよろしく願いいたします。

(委員長)

はい皆さんこんにちは。

(一同)

こんにちは。

(委員長)

本日もお暑いところ、またお忙しいところありがとうございます。本日は第4回目ということで答申についての審議ならびに決定を行う日になっております。皆様のご協力を得ながら答申を考えていきたいと思っています。本日の予定について説明をお願いします。

(事務局)

最初に配付資料の確認をさせていただきます。お配りしました資料をご確認ください。

①次第

②第3回議事録(案)

③資料1-1 集計

④資料1-2 追加記述の一覧

⑤資料2 選定委員会選定資料(案)

⑥資料3 門真市立義務教育諸学校教科用図書の選定について(答申)(案)

⑦調査員作成資料

⑧大阪府教育委員会が作成した教科用図書選定資料

お手元に今のご説明した資料はございますか。

では、第3回議事録のご確認の方、5分程度時間をとらせていただきますのでよろしく願いします。修正箇所等ございましたら、事務局まで申し出て下さい。

皆さんよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、本日の審議内容をご説明させていただきます。

まずは、1点目調査研究していただきました各教科の調査研究報告と所見等についての審議がございます。2点目が選定委員会として答申の内容について、審議をお願いします。今後、全体的に進行は、委員長よろしく願いいたします。以上です。

(委員長)

はい、それでは、前回、前々回の選定委員会で調査研究した種目について審議をしてまいりたいと思います。

まず、次第2、調査研究のまとめについて、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

はい、ここから座って、ご説明させていただきます。

第2回、第3回選定委員会の調査研究のまとめについてご説明させていただきます。

お手元にある資料1集計をご覧ください。

資料には3票以上の選定委員の所見と評価項目について転記をしております。

また、選定委員の皆様方からの所見もここに載せさせていただきます。

まず1番上の国語東京書籍を例にあげご説明させていただきます。

一番左1目標の内容のところの1-①、1-②、の右に記載してあります数字は、選定委員の皆様方に記入していただいた評価の結果でございます。1-①を優れている点と選択された方が3名、1-②を選定された方が5名、1-③を選択された方が4名、となっております。2人権の2-①は同じく2-①が3名、2-②が2名、2-③は3名ということでございます。

また、追記についてですが、追記は選定委員の意見として追加で記述していただいた文章表記の数になります。そして、下にある追記の文章記載については、実際に追記していただいた意見を記載しております。

一番右の評価項目につきましては、評価項目の1から6に、それぞれの見本のどの評価項目が優れているか、○をしていただいたものを集計した数になっております。

調査研究のまとめにつきましての説明は以上でございます。

(委員長)

はい 何か質問ございますか。

では、次第の3 選定委員会選定資料について説明をおねがいします。

(事務局)

はい、お手元にある資料2 選定委員会選定資料案をご覧ください。

この一覧表をもとに選定資料より選択された、あるいは記述していただいた所見や評価

項目を記載したものを答申用の選定資料として作成しなおし、教育委員会会議でお示しすることになっています。選定委員会において決定されましたとおり、選定委員の半数以上の所見及び評価項目の番号を、答申用の選定資料に記述しております。

先ほど見ていただいた3以上の数が付いていたものの文章を事務局で転記させていただきました。ただいまからご審議をお願いしたいことは今、申し上げました追加記述の所見についてです。

第1回目か2回目で決定していただきましたように記述していただいた文言につきまして2名以上が同じ内容のものはそのまま載せる、1名以上のものをここで議論をして載せていくかの審議をお願いします。具体的にご説明させていただきますと追加記述の所見について国語の東京書籍では追加記述が2点ございました。そこにあります「巻末のカラー資料の言葉の力がそれぞれの学年の学びがわかりやすい。」「読み継がれる名作と現代的視点で書かれた文学作品のバランスが良い。」これにつきまして選定資料に載せていくかのご議論をお願い致します。

東京書籍が終わりましたら続きまして次の教育出版そして光村図書の順にさせていただきますようお願いいたします

また、選定資料に載っている文言につきましても、調査員からあがってきた資料そのままです。今後、教育委員会に出す時は皆様方からの資料となりますので文末や語尾等を変えた方がいいというところがあればその議論をいただくようよろしくお願いいたします。

なお資料1-②に皆様の書いていただいた追加記述の一覧も作成しておりますので、それも随時参考にしていただいてご審議お願い致します。

では、まずは国語の東京書籍からよろしくお願いいたします。

(委員長)

それでは、資料1-①をご覧ください、事務局からの説明のとおり国語でいうと東京書籍と教育出版、光村図書で3票以上入ったものを出していただいています。

東京書籍は追記が2つで、「巻末のカラー資料の言葉の力がそれぞれの学年の学びがわかりやすい。」というコメントと次の「読み継がれる名作と現代的視点で書かれた文学作品のバランスが良い。」と書かれています。これらを答申、選定資料に載せていくかどうかについては、お二人以上の賛同があるかどうかです。

資料の11-1を見ていただくと今回調査をする観点6観点あります。目標、内容の取扱い、人権の取扱い、発達段階への考慮、組織配列、学び方の工夫、補充的な学習・発展的な学習の6つがありましたのでコメントを選ぶ際にこの6つの観点に沿っているかどうかということも1つのヒントになると思います。

(副委員長)

前回、調査員が専門性を活かして優れた点をあげてくれたものを我々選定委員でしっかりと吟味しました。そして、6名中3名以上が同意したものが今、この資料に並んでいるということですね。追記については我々の中から複数以上が賛同したものを記載する方向でいいと思います。

その中で、選定委員のお一人だけが感じた意見も大事にした上で、この場で複数の賛同が得られる場合はそれについても追記するというでいいと思います。

(委員長)

ありがとうございます

(副委員長)

あと、ついでにもう1点だけ気になったことが、上から9個目「読み継がれる名作や現代的視点で書かれた文学作品とはバランスよく取り上げられている。」という内容と追記の内容が、ほとんど同じ内容になってしまっています。だからもう既にチェックしたものに加えて追記で書いてしまったということです。

同じ内容が2つ書いてあるとならないようにここで追記載せていくものは他のものとの重なりがないかというチェックもいると感じました。

(委員長)

今のご意見について何かございますか。

(一同)

異議なし。

(委員長)

具体的にいうと、先ほどの東書の2つ目の意見。これは既に資料にもありましたので追記しないということですね。

次に1つ目の「巻末のカラー資料の言葉の力がそれぞれの学年の学びがわかりやすい。」という意見については、いま皆さんに見ていただいておりますが、学年で授業がそれぞれ切れてしまうというよりも、1年生から中学3年生まで学習をつないでいくという大きなテーマがあり、実際に授業でどのように活用されるかというのが分かるページがあるのはとてもいいと思います。

この内容については追記するという事でよろしいでしょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

それでは次に教育出版です。

追記の「巻末の付録に各学年で読みたい本が掲載されており学年にあった参考図書がわかりやすい。」という内容については、資料の中の「学校図書館の活用について詳しく掲載されており図書館への興味関心が高める工夫が見られる。」と同じことを言っているように感じます。

(委員)

そうですね。

(委員長)

いうことは、これは追記しなくて大丈夫ですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次、光村です。

「人権の取扱いが多様性を踏まえている」というのと、「具体的にさまざまな人種や障がい者のイラストが使われており多様性が重視されている。」というふうにより詳しくどこが多様なのかというのがコメントで書いていただいています。ただ資料にも「様々な人種や障がい者のイラストがつかわれており多様性を踏まえており」と書かれていますのでこの2つは追記しなくていいでしょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

次に「巻頭にできるようにになりたい授業や巻末には振り返りを気にする箇所があり児童が目標をたてやすい。」はどうですか。

先ほど、東京書籍の1つ目は残しましたので同じ趣旨の内容であれば残しておいても構わないと思いますが、残しておいていいでしょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

2つ目です。「本の世界を広げようでは読み終えた本に印をつけられ児童に意欲がわく工夫がされている。」という意見については資料の中の「どの学年でも学校図書館より地域の図書館についての学習があり学習しながら活用していく内容になっている。」と次のページの「本の紹介ページに出てくる本の一部を読んでみようのコーナーに掲載しており読書への興味を高める工夫が見られる。」これと同じですので、追記は消さしていただくということでもよろしいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次4つ目ですね。「意欲的に学べるように工夫されている。」というのは色々な意味で捉えることができるので難しいですね。

(委員)

資料の1枚目の下から3つ目と同じ括りでもいいと思います。

(委員長)

そうですね。工夫されていることは具体的に資料にも記載されているので追記はなしとします。

次に「全学年を通して説明文や物語文教材の言語活動が明確でわかりやすい。」です。

これは、「全学年を通して説明文・物語文教材の言語活動が非常に明確でわかりやすい。」と同じ内容なので資料に含めさせてもらいます。

次に「課題意識を持ち意欲的に取り組めるように工夫されている。」というご意見に関してはどうでしょうか。

(委員)

資料下から3つ目の意見と被らないですか。

(委員長)

そうですね、上から4つ目。「日常生活に起こりそうな場面を設定し問題点をどうすれば解決できるかを考え…」そうですね、資料に含めさせていただきます。

あと、気になったことが重さや分量についてです。重さや分量に関しての観点については、どうでしょうか。

(副委員長)

確かに児童、生徒への負担という面では大事な観点ではあると思います。ただ、光村が軽いというコメントがあるのですが、教育出版は5年生が分冊なので分冊の方がどうしても持ち運びは軽くなります。

ただ、分冊じゃない方が一貫して学びに使えるというメリットもあるので、どっちをとるかということだと思いますが、単純に重さという観点については今回、抜いてもいいと思います。

(委員長)

他、皆さんいかがですか。重い、軽いは省きましょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

最後です。「全体的にすっきり見え分量がよく感じる。」

これに似たような意見はないですか。

全体的にすっきりと見えというのは、何をもってそう言えるのかだと思います。

1年生のフォントが太字で、UDに基づく見やすい紙面構成になっているからスッキリ見えているのか。

(副委員長)

あとは、その下にある「全学年において物語文教材、説明文教材がバランスよく配列されている。」ということも場合によってはスッキリ見えることにつながっていくと思います。

(委員長)

そうですね。いかがですか。

(委員)

何に対してすっきり見えるかは人によって違いますよね。

配列がスッキリしているか、カラーがスッキリしているのか。

(委員長)

資料にあるそういった複数の意見で反映できていますので、これは消さしていただいてよろしいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

続いて書写になります。

東京書籍で追記が2つあります。

まず、1点目「書写の学びがわかりやすい」については同じ内容がありますので削除します。

次に「全体的にすっきりな印象、視覚的情報がわかりやすい。」、これも先ほどと同様に、資料にあるそういった複数の意見で反映できているので、削除します。

教育出版は、追記はございませんでした。

光村図書です。

「発達段階への考慮（猫の動き、形で線を表すなど）がわかりやすい。」については同じ内容がありますので削除します。

次の「国語・理科あるいは生活など横断的な学習ができる。」はどうでしょうか。

(委員)

下から3番目に、似たような内容が書かれています。

(委員長)

そうですね。国語の教科書、連動させて学習することができる。

(委員長)

理科・生活についてはどうでしょうか。

(委員)

これですね。横書きの書き方、観察、顕微鏡、理科のノートの書き方。

4年生の20ページです。書写を広げたい理科、その後に国語が出てきます。

(委員長)

どうしたらよろしいでしょうか。理科を入れたいという意図ですね。

(事務局)

国語の教科書という所に国語の教科書や理科の教科書と連動させて学習することができ

るにさせていただくといいかもかもしれません。

(委員長)

今の事務局案でいいですね。

「国語教科書や理科教科書と連動させて学習することができる。」として追記します。

(委員長)

続いて社会です。

まずは東京書籍です。「中学で学ぶ社会の説明がある。」については、先ほどの学年の繋がりというところで考えると追記してもいいですね。

(委員)

そうですね。

(委員長)

はい、わかりました。それでは「中学校で学ぶ社会の説明がある。」は残します。

次に、「やや軽い。」は重さに関する事なので削除します。

(委員)

今、東京書籍を見ていたら、1 ページ目の5 番目に「2 冊に分かれて1 冊あたりの重さが軽く持ち運びの負担が少ない。」という重さに関しての意見がありました。

(委員長)

削除しても大丈夫ですか。

(一同)

はい。

(委員長)

5・6 年生が2 冊に分かれているということと、1 冊あたりの重さが軽いということについては2 つの意味合いがあると思いますが分冊されていることに関する評価はどうでしょうか。

(委員)

歴史と、政治で分冊されているということですね。東書は、そのことについて何か書かれていないですか。

(委員長)

書かれていましたね。

(委員)

下から5番目ですね。

(委員長)

会社によっては上下で2分冊になっているところありますよね。

政治と歴史というように分野で分けていることがこの教科書会社のいい所になるのであれば意見として残しておいた方がと思います。

(委員)

5年は上下分冊、6年が歴史編と政治国際編という分野に分けてあるという工夫がなされていたという。

(委員長)

例えば、ただ上下に2冊に分かれているのはあまりメリットではなく、分野で分けているメリットだと捉えた方がいいとしたらこのコメント書き直すことになりましたが5年生ではなく6年生が政治あるいは歴史の2分野に分かれているというふうにしますか。

(事務局)

6年生だけでよろしいですか。 6年生が政治、国際 歴史の2分野に分かれている。

(委員長)

そうですね。5年生は上下です。

(事務局)

わかりました。

(委員長)

3つ目は、資料に同じ内容があるので削除させていただいてよろしいですか。

次に4つ目です。「現在における様々な課題についてきちんと説明されている。」については、どうでしょうか。

(委員)

資料の7つ目に書いています。

(委員長)

そうですね。沖縄基地問題、アイヌ民族のことに含めるということによろしいですか。はい、次です。「子ども達が興味をもって学習に取り組むよう工夫されている。」についても具体的にどんな工夫がというのが書いてあれば、そこに含めたいですがいかがでしょうか。

(委員)

下から2番目に書いています。

(委員長)

そうですね。次もそうですね。『生かす』では、学んだ事を自分たちの生活や未来に生かすためには、という観点が示され、子どもたちにとってこれがどんなことにつながるかイメージしやすい。」これに含めましょう。

次です。「人権の観点からさまざまな問題を子どもにわかるように説明していく。」これも先ほどの、現在の課題と同じような観点で考えられますね。

最後です。「学習の流れをつかみやすく学習のつながりを意識して学ぶことができる。」これも具体的に書かれていますか。

(委員)

下から3番目です。

(委員長)

「使う、調べる、まとめる、いかすとアイコンで大きく表示されており、そのページの学習活動が一目でわかるとともに単元の流れもわかりやすい。」に含めて大丈夫ですか。

はい。では、東京書籍が一番上の「中学で学ぶ社会の説明がある。」を残します。

続いて教育出版です。「カラー写真が豊富である。」

これはどうですか。

(副委員長)

写真やイラストが大きく取り上げられていて、とても見やすいというのはあります。

(委員長)

カラー写真が豊富であるといっても実際に数えて本当に多かったという事ではないですよ。効果的に使われているという意図でコメントされていると思うので含めてしまって

よろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

「單元ごとの、ベースの色味を統一しており、またコラム等の情報が色で整理しやすい。」
これも資料にありそうですね。

(委員)

さっきの「写真やイラストが大きく取り上げられとても見やすい。」と似ています。

(委員長)

これは、どちらかという写真とかイラストというより、単元の考え方を色で示すということだと思います。活動内容や單元によって色分けしていますね。
これは残しておきましょうか。

(委員長)

次に日本文教です。「戦後の学習がわかりやすくすすめられる。」はどうでしょうか。

(委員)

これは、ありますね。2つ目です。

(委員長)

2つ目の「戦後の学習で大日本国憲法と日本国憲法がわかりやすく比較され、国の方向性がわかりやすい」ですね。消していいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

続いて地図です。

東京書籍は「小さくなりがちな文字がくっきりした印象を受ける。」これはコメントの方はどうですか。

(委員)

地名を縁取りした工夫ですね。

(委員長)

誰かが地図が見やすいようにユニバーサルデザインと、地名を縁取りしているということですね。

(副委員長)

45～46 ページですね。

(委員長)

縁取りした工夫が見られるということに対しては帝国書院も同様ですね。

(副委員長)

それほどかわらない気がします。

(委員長)

「小さくなりがちな文字がくっきりした印象を受ける」については、資料にある「誰もが地図を見やすい様にユニバーサルデザインの書体をしようしているから読みやすい」に含めるような形でよろしいか

3つ目です。「日本の自然では世界の山・川・湖等の比較が行われやすい等の工夫がされている。」はどうでしょうか。68 ページです。

(副委員長)

これについては、私が書きましたが帝国書院でも同じようなことが書いてあったので消してもらってもいいです。

(委員長)

いいですか。

(委員)

東京書籍の方がわかりやすいです。

(委員長)

何ページですか。

(委員)

帝国は 96 ページです。東京書籍は 68 ページです。

(委員長)

確かに東京書籍の方が見やすいですね。残しておいていいのではないですか。

(副委員長)

では、残しておいてください。

続いて帝国書院です。

「広く見わたす地図から各地方詳細という組織配列が利用目的に応じて利用しやすい」については、下から 5 個目に「広く見わたす地図を設け 3 年生の児童に必要な最小限の情報をのせることでスキッと読みやすくなっている。」は少し意味合いが違いますか。いかがでしょうか。

(副委員長)

3 年生から 6 年生まで通して使うという意味ではこのコメントで表せられるような気がします。

(委員長)

削除しますね。

2 つ目です。「地図の見方や使い方がスムーズにできるよう導入が工夫されている。」はどうですか。これは「3 年生の児童がスムーズに利用できるよう巻頭に設けている。」と同じ意味なので消しますね。

3 つ目です。「各学年の学習で活用できるように工夫されている。」これについてはいかがでしょうか。

(副委員長)

「歴史の学習で活用できる地図がある」とあります。

(委員長)

それでは、そちらでいかすということで、追記の分は消しますね。

次に算数です。

東京書籍です。「1 年生の教科書が大きくて見やすい。」これはいかがでしょうか。

1年生だけが大きかったのでしょうか。

(委員)

東書と大日本、啓林館もそうですね。

(委員長)

啓林館もそうですね 1年生の上ですね。これは資料の方にも、なさそうですね。

(委員)

4つ目に「保幼小連携の観点から1年生は数学的にスムーズに取り組める内容になっている」にあります。

(委員長)

それに含まれると言えば含まれますか。

1年生では、判型を大きくし数学的活動にスムーズに取り組める内容になっているということですね。

(委員)

分冊して書き込みやすくなっているとか。

(委員長)

「保幼小連携の観点から1年生では分冊し、判型を大きくするなど書き込みしやすくしており、数学的にスムーズに取り組める内容になっている。」でいいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「日本語、漢字、ひらがな、アルファベットなどコメントを多用するためフォントの違いがわかりやすい。」これはどうでしょうか

(委員)

僕が書いたと思いますが、他の教科書、会社と比較した時に数字が見やすく感じたからだと思うのですが分かりにくいので消してもらっていいです。

(委員長)

消しても大丈夫ですか。

(委員)

大丈夫です。

(委員長)

次です。「非日常的な教材のため、コンテンツが充実しているのが助かる。」

例えばコメントの方3つ目「数字の書き順、円の書き方、わり算の筆算のしかたなどを動画やアニメーションで繰り返し視聴でき理解にあわせて学習できる。」これとは違いますか。

(副委員長)

そういうことを指していると感じました。

(委員長)

「QR コンテンツが充実しており家庭でも学習でも使えるようになっている。」

これに含めましょうか。

(委員長)

次です。「図や表が多く取り入れられ、視覚的に理解しやすい工夫がある。」これは資料にありますか。同じようなものはなさそうですね。確かに色々なイラストとか写真とか図は多用されている感じがしますね。これは残しましょう。

次です。大日本図書です。

先ほども出てきた「1年生の教科書が大きくて見やすい。」

(委員)

3つ目に書かれています。

(委員長)

ありますね。これもさっきみたいに少し追記しますか。

「保幼小連携の観点から分冊し、1年生初期の学習活動において工夫されている部分がある。」でいいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次、4つ目です。「なるほど算数教室で興味・関心を深めようとしている。」これはいかがでしょうか。

(委員)

資料にはなさそうですね。

(委員長)

4年生の教科書を見ますと、なるほど算数教室で7つのコラムからページが作られていて、いいと思いました。嫌いな算数を好きになれそうです。これは追記しておきますか。

(一同)

はい。

(委員長)

次は学校図書です。「考え方モンスターを使って授業がわかりやすいように工夫されている。」

(委員)

巻頭にあります。

(副委員長)

2票入ってますね。

(委員長)

これは追記しましょうか。3つ目にも見方・考え方のポイントが学年ごとにまとめられている(考え方モンスター)と書かれてあるので合わせます。

「考え方モンスターを使って見方・考え方のポイントが学年ごとにまとめられており、児童がわかりやすいように工夫されている。」でいいですね。

2つ目です。「サイズがありスペースがある分、すっきり見えている。」これはどうですか。

(委員)

大きいんですよ。

(委員長)

判型が大きいということですね。それでは「判型が大きいのでスペースがある分、すっきり見えている。」でいいですね。次です。「対話形式で多様な考え方を出せるように工夫してい

る。」これは資料にありますか。

(委員)

ありますね。下から2つ目。

(委員)

「授業が対話的に進められるような工夫がされている。」

(委員長)

そうですね。そうしたら消しますね。

次、「6年以外が、全て上下分冊されており持ち運びがしやすい。」ですが、これは単純に上下分冊なので消しましょう。

次は教育出版です。

「学んだことを使おうが配列されていて実生活に生かせる様に工夫されている。」

これは資料の方にはございますか。

(委員)

5年生の199ページ。グラフで分析しようがあります。

単元の終わりに使えそうなおもしろい問題も結構あります。

(副委員長)

2年生もおもしろそうですよ。114ページの水のかさの問題なども工夫されています。

(委員長)

それではこちらは追記しておきましょう。

続いて啓林館です

「練習問題の量が多い。」これはどうですか。

(委員)

実際に数えたわけではないのですが、啓林館はとにかく多いというのが印象的で。消してもらっていいです。

(委員長)

それでは消しますね。

「付録の学習具が良い。」はどうですか。

(委員)

これはよく考えられています。各学年巻末についています。

(委員長)

それでは、これは残しましょう。

続きまして、日本文教です

「学習の進め方がわかりやすい。」はどうでしょうか。

(委員)

巻頭に載っています。学年や学び方です。

(委員長)

巻頭ですね。

これは下から4つ目の「学習の進め方が授業スタンダードと同じ流れになっている。」に含める形でいけますか。はい。ではこれは消します。

算数は以上です。

(委員長)

次、理科です。

東京書籍、1つ目の「軽い。」は重さに関する評価なので消します。

「写真イラストが大きく理科という教材に適していると感じる。」これはいかがでしょうか。

「実験、観察の操作が写真やイラストで具体的に示され、手順が分かりやすい。」に、ふくめるということによろしいですか

(一同)

はい。

(委員長)

では、消しますね。

3つ目です。「目次が裏表紙にあるので見やすい。」これはどうですか。

(副委員長)

資料にはないですね。

(委員長)

最後に目次をもってくることで中に目次がないとしたら、そのページが有効に使われて

いるんですかね。残しますか。ちょっとおもしろい視点ではあります。

(委員)

目次を見るときに、検索しやすいですね。おもしろい観点だと思います。

(委員長)

発達段階に応じて使い分けができそうという工夫ではありますね。それでは追記で載せておきます。

次です。「表紙にフルサイズの写真を用いており児童が理科に関する興味関心を高めるのに寄与している。」

これは、先ほど写真についてはいくつか資料にもありましたが、表紙で大きく使っているという観点はなかったですね。これはどうですか。

(副委員長)

これは私が書きましたが斬新な使い方だとは感じました。雑誌の表紙みたいですね。ただそれを評価するかどうかです。

(委員長)

これ、教育的な視点から見ると表紙は一番発色がきれいな印刷ができるところで、教材の色味、質感を大きく表しているという点で工夫されているので載せておきましょうか。よろしいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「思考の流れをどの学年も統一しており、その流れをもとに編集しているのでわかりやすい」これは資料にありそうですがどうですか。

たとえば一番上ですね。「児童が思考する場面では「理科の見方・考え方」を具体的に明示し、理科の見方、考え方を働かせながら問題解決に進められるような構成となっている。」あるいは、「問題をつかもうでは主体的、多樣的に問題をつかむことができるようになっていく」これにふくめてよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

次、「写真やイラストが大きくてみやすい。」これも先ほどの分に含めますね。

それでは東京書籍は3つ目と4つ目を追記して、あとは消しますね。

次に大日本図書です。

1つ目です。「教科書が大きいため文字や絵が大きい」これは先ほどの観点ですね。消していいですか。

(副委員長)

消していいと思います。

(委員長)

それでは、これは消しますね。

次です、「思考の流れをどの学年も統一しており、その流れをもとに編集しているのでわかりやすい。」これ、さっきもありましたね。

(委員長)

「全学年を通して各学年で育成する問題解決の力を中心とした理科の学び方が巻頭に設定されており、どの単元の学習でも見通しをもって児童が主体的に学習に取り組めるための基礎が学べる内容になっている」これに含めていいですね。

大日本図書は、2つとも消しますね。

次に学校図書です。

「写真が大きくて見やすい。」これは同じような意見ありますか。

下から4つ目ですね。「単元の導入部分に見開き写真のページが設定され右側に対話の例を配置することにより資料をスムーズにいかすことができる。」

こちらに含めてよろしいでしょうか。それではこれは消しますね。

次です。「やってみよう」「振り返ろう」で学習の発展とまとめを単元ごとに行っている。これはどうでしょうか。

「発展の内容に応じて習熟を高め学習をより深いものにするように内容が厳選されたものとなっている。」これは発展のことを言っていますね。

(委員)

最後の項目に、似たような意見があります。

(委員長)

最後ですね。「学習の振り返り場面に物づくりを伴う「やってみよう」があり、学んだ知識や生活が役にたつことが実感できるようになっている。」

この意見に含めましましょう。

続いて教育出版です。「裏表紙に安全の手引きがあり、事故ケガの防止につながっている。」
これはどうですか。

(委員)

資料の中にはないですね。

(委員長)

ないですね。それではこれは追記しておきましょうか。

2つ目です「SDGs に関する表記が丁寧で SDGs に関連する場所がわかるようにされている。」これは似たような意見はありますか。

(副委員長)

一番最後に SDGs の事が書かれています。

(委員長)

一番最後のところですね 「SDGs と関連する箇所がわかるようにされており、より詳しく調べることができるように『SDGs ずかん』を活用することができるようになっている。」これに含めましょう。

教育出版は1つ目だけ追記します。

啓林館です。「軽い。」は消しますね。

「文字と写真、イラストの分量がバランスが良くスッキリ感じる。」は、上から5つ目の「ユニバーサルデザインフォントやメディアユニバーサルデザインを用いるなど全ての児童が支障なく落ち着いて学習に取り組めるよう配慮されているからバランスがよくスッキリ感じる。」あるいは、「机上スペース内で取扱いしやすい AB 版の大きさである。」

このあたりの意見に含めて大丈夫ですか。

(一同)

はい。

(委員長)

はい、それでは消しますね。

「絵で表している物が多い」も同じ理由で消しますね。

「思考の流れをどの学年も統一しておりその流れを元に編集しているのでわかりやすい。」

どうでしょう。

(副委員長)

資料にありますね。下から5つ目が似ているように感じます。

「「見つける」「調べる」「まとめる」の学びのサイクルを繰り返しながら学びを深めるように単元が構成されている。」単元構成の話なので。

(委員長)

じゃあ、これに含めますね。

次です。「暮らしとリンクで学習したこと生活の中にあることを考えさせる工夫がある。」

(委員)

2ページ目の3つ目にあります。

(委員長)

そうですね。これに含めましょうか。

「巻末の資料室のページでは、他教科の学習や実生活に生かせる工夫がされている。」

これはどうですか。

下から3つ目ですね。「巻末の理科につながる算数の窓では、得られた結果の整理や表現方法がわかりやすくまとめられており、『結果から考えよう』や『まとめ』でデータリテラシーが高まるような工夫がされている。」資料室ってどこでしょう。

(副委員長)

オッターの資料室の中に「理科につながる算数の学び」というのも入っていますね。

(委員長)

「オッターの資料室というページに他教科とか実生活に活かせるような工夫がある。」という評価ですね。それではこの「オッターの」を付けたして残すということによろしいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「学習の流れがよくわかる。」これも先ほどの意見に含めて消しますね。

続きまして生活です。

東京書籍「どのページもレイアウトがわかりやすく感じる。」これは、資料の一番上に「本時のめあてが見開きの左上に掲載されていて統一感があり分かりやすい。」に含めて消しますね。

「ページ数や表示が大きくてわかりやすい。」これはどうですか。

(副委員長)

確かに大きいですね。

(委員長)

イラストが多い教科書なので数字がはっきりみえているのがポイントですね。
それではこれは残しましょうか。

3つ目です。「子どもたちの気付きや疑問から学習が展開されるように工夫されている。」
これはどうですか。

(委員)

下からから4つ目にありますね。

(委員長)

そうですね。これに吸収させます。

続きまして、大日本図書です。「目次が見やすくわかりやすい。」
これはどうですか。

(副委員長)

これも好みの問題でたて1列の方がわかりやすいこともあると思います。

(委員長)

これは賛同を得られないということで消しますね。

続く学校図書は追記無しになります。

教育出版です。3つございます。「イラストや写真に人権への配慮が感じられる。」
これ資料の5つ目に「イラストや写真から多文化共生、障がい者教育、ジェンダー平等など
さまざまな配慮が感じられる。」とあるので吸収させてもよろしいですね。

「写真が多くてきれい。」に関してはどうですか。資料の「写真を中心にイメージ化をはか
っているのもそのように感じる。」に含めますね。

「学びポケットが良い。」はどうですか。

(委員)

資料2ページ目の上から2つ目にありますね。

(委員長)

それでは、消しますね。教育出版は追記無しです。

次は、光村です。

「軽い。」は消しますね。

「冊子に常に気を付けたいことがピックアップされているのがよい。」これはどうですか。

(委員)

資料の一番最後と似てるような気がします。

(委員長)

そうですね。ここに含めましょうか。

次、3つ目です。「絵と言葉が良い。」これはどうですか。

(委員)

8つ目の「有名な絵本作家がイラストを手がけているので、子どもたちは教科書に馴染みやすい。」はどうですか。

(委員長)

そうですね。それではそれに含めますね。

次です。「家の人の様子を仕事やコミュニケーションという視点で観察させている。」

これに関しては家族の事を取り上げている単元があって、光村だけおとうさんの家庭での仕事でお風呂掃除がありました。この視点は光村にしかありませんでした。似たような意見はないですか。よろしいか。では、これ追記させてもらいますね。

「人権的な配慮が様々にされている」これは何か具体的には書かれていますか。

(委員)

5つ目に同じような意見があります。

(委員長)

そうですね。「様々な配慮が感じられる。」これもそうですね。

じゃあここに含ませましょうか。

続いて啓林館になります。

「軽い。」は消しますね

「学習の流れがわかりやすいように構成されている。」

これはどうでしょうか。

(委員)

真ん中あたりに「学習の流れが、単元導入（わくわく）・活動（いきいき）・ふりかえり（ぐんぐん）と構成されている。」

(委員長)

そうですね。同じ内容ですね。

「発展的に考えることができる。」はどうですか。

『できるかな、できたかな？』では自分の学習を振り返りやすい。」これに含めて大丈夫ですか。

(一同)

はい。

(委員長)

それでは次は音楽です。

「3年生以上に外国語に親しむページが掲載されているのが良い。国際理解教育にもつながる。」これはどうですか。

(委員)

下から5番目に同じようなことが書かれています。

(委員長)

下から5番目「他教科と関連する活動や歌を通して外国語に親しむ活動を設けた「ショートタイムラーニング」コーナーがある。」そうですね。これに含ませてもらってよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

それではこれに含めます。

次は、教育芸術社です。『みんなで楽しく』のページでたくさんの曲が紹介されており、色んな合唱や演奏を楽しむことができる。」

『みんなで楽しく』ってどんなページかな。

(委員)

74 ページです。いろいろな曲が4～5曲載っています。

(委員長)

似たような意見はないですね 残しておきましょう。

(委員)

はい。

(委員長)

2つ目です。「目標と教材の活動の観点がわかりやすい。」 これはどうですか。

(委員)

1番最初にあります。

(委員長)

そうですね。「題材ごとの目標と教材ごとの活動の観点が示されており、児童が工夫して学習を行うことができる内容が盛り込まれている。」あるいは2つ目、「学年別の重点目標をふまえた学習主題に基づき、音や音楽をつくる学習や鑑賞が段階的・系統的に活動できるよう配慮されている。」これですね

それではこれは消します。

「良く歌われている曲が多い。」これはどうですか。

(副委員長)

学校現場でよく歌われていてみんなが慣れているというのは、現在使っている教科書だからという観点にもなってしまうので消しておいたほうがいいと思います。

(委員長)

それでは、消しますね。

「親しみやすい。」も同じ理由で消していいですね。

「配列も良い。」「配色も良い。」はどうでしょう。

例えば、下から6つ目に「学習主題ごとに表現教材と鑑賞教材を一体化した配列で、段階的・系統的に積み重ねて学習できるよう編成されている。」に含めていいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

配色とは色のことですか。

(委員)

單元ごとに色分けられています。

(委員長)

これは教育出版も同じように色分けされている感じがするので消しますね。
「気づいたこと、感じたことを書き込めるスペースがある。」はどうですか。

(委員)

6年生の33・35・37参照のページにあります。

(委員長)

ありますね。

(副委員長)

教育出版は「みんながみつけたりかんじたりしたことを、書いておこう」という書き込めるページがありますが。

(委員長)

資料の方はどうでしょうか。特にはなさそうですね。
資料に追記してもいいと思いますが、教育出版の方に入れておきますか。
それか両方とも無しにするかです。音楽の教科書に書き込むことってありますか。

(委員)

ワークシートは作りますが、教科書にはあんまり書かないです。

(委員長)

あまり書く場面ないですよ。両方とも書き込めるところがあるということで比較にならないので、消しておきましょうか。

次です。「裏表紙に地域の文化や芸能が書かれており、日本の文化を知ることができる。」
エイサーとか文楽とかですね。

(副委員長)

たしかに特徴ではありますね。

(委員長)

これは資料にありますか。

(委員)

ないですね。

(委員長)

それでは追記しておきましょう。

最後です。「曲ごとにめあてがわかりやすく書かれている。」

これはどちらも書かれているような気がしますね、両方ありますね。

資料にも「題毎の目標と教材ごとの活動、観点が示されており児童が工夫して学習を行うことが盛り込まれている。」とありますね。これは消しましょう。

続いて図工です。まずは開隆堂です。「めあてがわかりやすく書かれており何を学ぶのかわかりやすい。」これは資料にないですか。

一番上の「くふう・ひらめき・ころ」の3つの観点でめあてが記載されている。また、特に大切なめあてには朱書きと下線が引いてあり、わかりやすい。」これに含まれますね。

2つ目です。「学習・めあて・片付け・振り返りのレイアウトがわかりやすい。」

(委員)

下から3つ目はどうですか。

(委員長)

そうですね。含ませましょう。

「全学年同じ3つのキャラクターが学習のヒントを吹き出しで示してくれている。」

学習のヒントについて何か書かれていますか。

(委員)

工夫ちゃん、ひらめきちゃん 心君ですね。

(委員長)

これ残しておきましょうか。

続いて日本文教です。「写真やイラストに付く説明やコメントがわかりやすい。」

これはいかがでしょうか。

(副委員長)

吹き出しのことですね。

(委員長)

残しておきましょうか。残します。

「写真や作品に多様性がある。」これは資料にありましたね。真ん中ですね。消しますね。

「ICTをよく使っている。」これはどうでしょう。

(委員)

2ページ目の下から3つ目です。

(委員長)

ありますね。「ICT活用が充実しており『ICTでチャレンジ』では、ICTを活用した発展的な学習の記載がある。」書いていますね。これは消しましょう。

「表現方法の紹介がよい。」これどうですか。

(委員)

資料の中の下から7つ目。

(副委員)

「終盤の『材料と用具のひきだし』では、同じ活動について、学年に合わせた道具や表現について説明がある。」ですね。

(委員)

最後の「クレパスを使ってとか筆で遊ぼう。」とか。

(委員長)

そこに含めましょうか。それでは消しますね。

それでは16時までの間、少し休憩に入ります。

(委員長)

それでは、再開します。次は家庭科です。

まずは東京書籍の1つ目。「写真がきれい。」こちらはどうですか。

(委員)

写真に関する意見としては、資料の9つ目に「巻末資料に写真を掲載し、手をのせて練習できるように工夫している。」とあります。

(委員)

写真のきれいさについては開隆堂とも比較をしましたが、そこまで目に見えるほどの差は感じませんでした。

(委員長)

そうですね。そこまでの差はないかもしれません。それでは資料9つ目の内容にも含めるということで削除します。

次です。「見やすい字体・色」こちらは開隆堂も同じくUD書体なので消してよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「QRコードが多い。」

(委員)

資料の10個目に「文章やイラストでの説明に加えてQRコードでも動画を見られ、より理解が深まるように工夫されている。」、13個目に「QRコードを読み取り、トライシートを活用して学習できる工夫がある。」と、QRコードに関する記載があります。

(委員長)

QRコードの具体的な良さにもふれているのでそこに含めましょう。

次に「注釈などたくさんの方が情報が記載されているがどれも読みやすくなっている。」です。こちらはどうぞでしょう。

(委員)

資料1枚目の1番下にある『メモ』の欄には、ちょっとした疑問や学習するにあたり、知っておいた方がよい豆知識が掲載され、より学びが深まるよう工夫されている。」と同じ内容を指しているように思います。

(委員長)

そうですね。注釈というのはおそらくこれのことですね。それではこの意見に含めるということで消しますね。

最後です。「写真の切り方が大きい写真で載っており、分かりやすい。」これは先ほどの「写真がきれい。」と同じ理由で含めるということによろしいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

それでは、開隆堂に移ります。

1つ目「たくさんの情報が記載されている中で、教科書の見方、使い方の説明がされている。」こちらはどうかでしょうか。

(委員)

資料の2つ目に「見方・考え方の4つの視点も示されているので、何をどの視点で学ぶのが分かりやすい。」とあります。

(委員長)

そうですね。この視点というのが教科書の使い方を指していますね。それではこの意見に含めるということで、削除します。

次です。「レイアウトが整理されていて、読みやすい。」これは全体的な内容だと思いますが、資料にも写真の掲載に関する意見や、学習の見通しが分かりやすく明示されているという意見もあり、具体的な内容として記載があるのでここに含めるという形によろしいでしょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

それでは削除します。

「環境について気を付けるポイントが示してある。」これについてはいかがでしょうか。

(副委員長)

環境については、東書も環境というマークがあって同様の取り組みがされてます。

(委員長)

確認します。

確かに両方に記載がありますね。それでは消させていただきます。

次です。「豆知識が記載されていて興味を引く。」これは資料にはないですか。

(委員)

ないですね。

(委員長)

それでは、先ほどの東京書籍も豆知識が掲載されているという記載があったので、これは追記しておきましょう。

(副委員長)

あと、開隆堂の資料の6つ目に「字体が UD 教科書体を使用している」と書かれています。

(委員長)

そうですね。これに関しては東京書籍も同様なので削除してよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

続いて保健です。

東京書籍の1つ目「薬物乱用について写真をつけて詳しく説明している。」6年生の69ページです。

(委員)

どの教科書でも実施する内容なので、特筆すべき点ではないように思います。

(委員長)

そうですね。薬物乱用については必ずやりますね。それでは削除します。

次、大日本図書です。「巻末に次の学年に向けた内容があるので学ぶことがわかる。」

これは資料の方にございますか。他の教科書にもありそうな内容ですね。

東京書籍はなさそうですね。

(委員)

学研はあります。

(委員長)

大修館書院はどうでしょう。

(委員)

大修館もあります。

(委員)

光文書院はなさそうですね。

(副委員長)

文教社もないです。

(委員長)

それでは、これについては工夫されている点ということで残しておきましょう。

続いて「学習のステップが明確でわかりやすい。」これに関しては、資料の1つ目ですね。

「全ての項目で身近な生活の中から課題をつかみ、①学習の見通しを持つ②学習の課題を解決するための活動③学習をまとめる、の3ステップで構成されている。」まさにこれですね。それでは削除します。

続きまして、文教社です。「絵や写真が大きく説明も細かく詳しく書いてある。」こちらはいかがでしょうか。

(委員)

資料の4つ目に写真について書いてあります。

(委員長)

書いていますね。「写真が多く掲載されており視覚的にわかりやすく支援されている。」ここに含めるということでもいいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次に光文書院です。

1つ目です。「文字や大きさが色でわけられており見やすい。」これはどうでしょう。

(委員)

資料の下から5個目。

(委員長)

「イラストが多くつかわれており文字を読むのがわかりやすい。」これに含めてよろしいか。色については单元ごとに色が青や緑に色分されていますね。

文字を読むのがつらい人にもわかりやすいという効果があるということで含めることとします。

2つ目です「見つけよう→話し合おう→調べよう→生かそうなど思考の道筋を示してわかりやすい。」これについては、少し表現が違いますが、2つ目の「単元の初めに学習目標がかかれています。」や、次の「記述欄が多く、思考→判断→表現と考えていくことを、教科書を用いて取り組めるように作られている。」とありますが、この思考の道筋という観点で言うと同じものはないですね。

追記しておいてよろしいですか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「巻頭の著名人からのメッセージ学習意欲の高まりにつながる。」これはどうですか。ちなみに著名人がいたら意欲は高まるのですか。

(委員)

私も疑問です。

(副委員長)

大日本図書には水谷選手が載っています。光文書院だけではないので消してもいいと思います。

(委員長)

それでは削除します。

最後、学研ですが、大日本図書に追記した「巻末に次の学年に向けた内容があるので学ぶことがわかる。」の内容が資料にありますか。

(副委員)

ないです。

(委員長)

それでは学研に、「巻末に次の学年に向けた内容があるので学ぶことがわかる。」を追記していただいていいですか。

(事務局)

はい。

最後に1点相談がございます。光文書院の資料の8つ目「イラストが多く使われ、文字を読むことがつらい人にわかりやすい。」の「つらい」を少し違う表現に変えて頂けませんか。

(委員)

「苦手」とかどうでしょうか。

(委員長)

苦手にしましょうか。

(副委員長)

苦手にしましょう。

(委員長)

はい。それでは外国語です。

東京書籍の1つ目。「4線が等分ではない。」真ん中だけが広いという意味ですか。

(委員)

等分の会社と等分でない会社があります。

(委員長)

どちらがいいですか。

(委員)

4つ目に「4線の書式への配慮がなされている。」とあります。広い方が書きやすいのでしよう。

(委員長)

資料に記載はあるので、追記はなしでいいですね。

(一同)

はい。

(委員長)

「書き込むところが多い。」は他の教科書も同様なので削除してもよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

「デジタル教科書の操作アイコンが大きく使いやすい。」これはどうですか。三省堂にも同じ内容があります。これは追記してよろしいか。

(副委員長)

デジタル教科書に関する記述が3つ続いています。

(事務局)

それについても、今回が初めてなので、決めていただきたいのですが、色々な観点で個別に記載するか、デジタル教科書の項目として1つにまとめて記載するのか。

(委員長)

このことについていかがですか。

(委員)

教科書とは別にデジタル教科書の評価が必要だと思います。デジタル教科書のコンテンツが使いやすいか使いにくいかは重要だと思います。

(委員長)

そうですね。今のご意見でいうと記述が多いものほど評価が高いということでもいいですか。私もその方がいいと思います。

例えば東京書籍でいうと3つありますが、2つ目の「デジタル教科書において設問ごとに音声教材がある。」と3つ目の「デジタル教科書において音声がたくさんあり聞きとりやすい。」は似ているので「デジタル教科書において設問ごとに音声教材があり、聞きとりやすい。」として1つにまとめますので、デジタル教科書に関しての追記は2点です。

続きまして開隆堂です。「音楽（歌）が多い。」これはどうですか。

(委員)

私を書きました。

(委員長)

「書くのが多い。」もですか。

(委員)

そうです。

(副委員長)

東書で「書き込むところが多い。」は消しましたね。

(委員長)

消しました。2つ目は消しましょうか。歌の多さはどうでしょうか。しっかり数えているわけではないので、消しておきましょうか。

(委員)

はい。

(委員長)

3つ目です。「デジタル教科書の音声を組み込まれた単語は、タッチするだけで音声が流れる」これ残しておきましょうか。はい、それでは3つ目は残します。

次、三省堂です。「構成（ユニット）がよい。」これはどうでしょうか。例えば、1つ目「主体的で、対話的な活動ができるよう、「聞くこと」「話すこと」の活動において十分に言語表現に慣れ親しむ活動が設定されており、理解を深めることができる。」、2つ目もそうですし、4つ目にも「学習内容が3つの大単元と、ねらいの異なるいくつかの小単元で段階を追って配置されている。」ということをもって構成が良いと判断してよろしいか。

「デジタル教科書の操作アイコンが大きくて使いやすい。」については残しておきます。

続いて、教育出版です。「デジタル教科書、音声を組み込まれた単語はタッチするだけで音声が流れる。」これは残しましょう。

「子どもが好きなアニメがのっていて興味をひく。」については、資料の4つ目「歴史上の人物や、よく知られている人物が取りあつかわれており、児童が興味を持って学習することができる。」とはちがいますか。アニメではありませんが。

(副委員長)

子どもが好きなアニメですか。どこかに載っていましたか。

何かと間違えられたかもしれません。

(委員長)

間違えたのかもしれませんが。消しておきます。

次に光村です。デジタル教科書に関して3つあります。「デジタル教科書の書き込みを保存できる。ノートのように学習の記録となる。」「デジタル教科書において親しみやすいキャラクターが児童の活動の見本を示しており、実際の活動をイメージしやすい。」「デジタル教科書において30秒程度でねらいがまとめられており内容がわかりやすい。」

これは3つとも残してよろしいか。4つ目です。「目標に向けてのステップが明確であり学習しやすい。」これは資料の上から6つ目「各単元のはじめにGoalの記載があり、Hop, Step 1, Step 2, Jumpがあることで順序だてて進捗がわかりやすい。」に含めてよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

次に啓林館です。「デジタル教科書は多機能である。」これについては他となにか違いがありましたか。

(委員)

他と比べても啓林館が一番機能的な印象でした。ただ、具体的には書いていないですね。

(委員長)

それでしたら、評価としては多機能であるという1点で大丈夫ですか。

(委員)

はい。

(委員長)

次です。「できるようになったことリストがあり学習意欲がわく。」これはどうですか。

(副委員長)

CAN DO リストですね。

(委員長)

それでは、CAN DO リストという言葉を入れておきましょう。「CAN DO リストとしてでき

るようになったことリストがあり、学習意欲がわく。」としましょう。

3つ目です。「デジタルコンテンツが2～5分と長く、会話の世界観が広がるのが難しい。」少しマイナス面も含まれていますね。

(委員)

良い部分だけ残してもいいのではないのでしょうか。

(委員長)

それでは「デジタルコンテンツが2～5分と長いものもあり、会話の世界観が広がる。」でよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

少し戻りますが、東京書籍の資料4つ目に4線への配慮とありました。ちなみに光村はどうなっていますか。

(委員)

光村は、同じ形になっています。

(委員長)

たまたま55ページを見ましたが、東京書籍と同じく太くなっていますね。

(委員)

同じですね。

(委員長)

光村の資料の方には、4線のことについては書かれてないので追記していいですか。

(委員)

加えましょう。

(委員長)

さらに、ユニバーサルデザインの書体も使っていますね。

(委員)

使われていますね。

(委員長)

それでは東京書籍の4行目の文言をそのまま光村に追記したいと思います。

次はラスト、道徳です。

東京書籍からです。「ゲーム・スマホの使い方について教材になっている。」これは資料の方にありますか。書いてないですね。これは追記しておいてよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

『考えよう』と『つながる∞広がる』でめあてを深く指導させる工夫がある。」

これは資料の方はどうでしょうか。ないですね。追記しておきましょう。

次に教育出版です。『考えよう』『深めよう』『つなげよう』と学びを深められる工夫がある。」はどうですか。

(委員)

資料の1番最初にあります。

(委員長)

ありますね。それではこれは削除します。

「歴史上の人物や著名人に関する読み物教材が多く、子どもたちが興味を持ちやすい。」

これは他の教科書にもありそうなので、一旦保留にして後ほどチェックします。

光村です。「有名な作家の絵があり学びに興味をわく。」これはどうですか。

(委員)

よしたけさんですね。

(委員長)

これですね。追記しておきましょう。

次、「キャラクターが学びのヒントを教えてくれる。」はどうでしょう。

(委員)

こころん、もやもやん、きらりんのことですね。

(委員長)

これは、資料にもなさそうですね。入れておきましょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「色使いが見やすい。」これは、色覚の弱い方でも、色がきちんと識別できる色を使っていますということかな。資料3つ目の「ユニバーサルデザイン書体とカラーユニバーサルデザインが使用され、人権への配慮がなされている。」の記述に含めてよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

次、「マンガや有名絵本作家の教材もあり、児童が興味を持ちやすくなっている。」こちらはいかがでしょう。

(副委員長)

これは私が書いたのですが、他の教科書会社にもあったかもしれないですけど、漫画や絵本作家のイラストは子どもが親しみやすいと思いました。

(委員長)

それであればこちらを追記して、1つ目の追記をこちらに含めますので、今のところ追記は2つ目と4つ目です。

次、「ゲーム、インターネットへの向かい方について3年生から教材になっている。」

東京書籍は2年生からになっているけど、こちらは3年生からになっている。これは残しておきましょう。次は「考えよう、話し合おう、つなげよう」と構成になっているということが伝えたい内容ですね。

これは先ほどの「キャラクターが学びのヒントを教えてくれる」と同じでいいですか。

(委員)

考えよう、話し合おうのところにキャラクターがいますね。

(委員長)

そうですね。
次です。「4年P98の導入ページが効果的になっている。」これは私が書きましたが、本題の前に自分たちとのつながりを子どもたちに整理させてから、単元に入っていくという流れがありました。

(副委員長)

これは4年以外にもありますか。

(委員長)

あったと思います。

(委員)

他の学年にもあります。学びの準備をやってから単元に入っています。

(委員長)

それでは少し言い方を変えて、「学びの準備を行い、単元に進むような構成になっている。」にしましょうか。

(一同)

はい。

(委員長)

次です。「いじめについて考える教材が多く活用されている。」これはどうでしょうか。

(委員)

3つ目にあります。

(委員長)

ありますね。それでは消します。

続いて日本文教です。「気付く・考える・見つめるという構成になっている。」資料の中に構成について、触れているところありませんか。

(副委員長)

これですね。道徳の学びというところです。

(委員長)

それですね。それでは「巻頭に道徳の学び方がある。」にしましょう。次の「スマホ・携帯電話が6年生の教材になっている。」も一連の流れで入れておきましょう。

「道徳ノートがついている。」こちらはいかがでしょうか。

(委員)

資料の下から2つ目にあります。

(委員長)

ありますね。それでは消しますね。ちなみに道徳ノートって他にもありますか。

(副委員長)

他にはないです。ただ、実際に必要かどうか。

(委員長)

そうですね。どちらにしても資料にあるので含めます。

つづきまして、光文書院です。

「インターネットでの調べ方について3年の教材になっている。」これは残します。

「付録教材がより多く扱われることにより子どもの実態に合わせた活用がしやすい。」

これは、いかがですか。

(委員)

資料2枚目の下から2つ目に同じようなことが書かれています。

(委員長)

そうですね。これは消します。

「作品が多い。」はどうでしょうか。

(副委員長)

これも資料にある35時間の規定教材数よりも多い40時間の単元数が設定されているということが書かれていますので、作品が多いということと同じだと思います。

(委員長)

そうですね。そこに含めます。

続いて学研です。「写真を多く使用していてわかりやすい。」これはどうでしょうか。

(委員)

絵も多いですね。

(委員)

写真は1ページにつき1枚ぐらい入っています。

(委員長)

写真多い感じがします。ちなみに光村はイラストとか漫画が多いですけど、写真は確かに少ないですね。それではこちらは残しますが、写真多く使用しているではなく、「写真を効果的に多用しており、分かりやすい。」に変えましょう。

以上で、全13種目の各教科書会社の評価項目、特記すべき所見についての確認が終わりました。事務局は漏れのないように、修正いただき、選定委員の答申として挙げていただきたいと思います。最後になりますが、全般をとおして何かご意見ございますか。

では、次第の4です、答申についての審議ならびに決定について審議を進めてまいります。事務局の方から、内容について説明してください。

(事務局)

長時間にわたるまとめ作業お疲れ様です。では、資料3をごらんください。2枚目になります。答申案の主文を読み上げさせていただきます。まず1～3を読み上げさせていただきます。

1 門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（以下、選定委員会）では、教育委員会から「令和6年度小学校使用教科用図書の適正な選定について」の諮問を受け、適正かつ公正な採択を目指し、主として「教科書見本本」「大阪府教育委員会が作成した教科用図書選定資料」「調査員作成資料」の3点を参考にして、門真市の児童にとって、よりよい教科書を選定するための資料作成のため調査研究を進めてまいりました。このたび、第4回選定委員会にて選定結果をとりまとめましたので、ここに答申いたします。

2 調査研究関係資料

(1) 選定委員会関係資料

〔資料1〕門真市附属機関に関する条例

〔資料2〕門真市附属機関に関する条例の施行に関する門真市教育委員会規則

〔資料3〕門真市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会の運営に関する要綱

〔資料4〕門真市立義務教育諸学校教科用図書の選定について（諮問）

〔資料5〕選定委員会委員名簿

(2) 調査員関係資料

〔資料6〕調査員名簿

〔資料7〕門真市立義務教育諸学校教科用図書選定資料作成要領

〔資料8〕 調査員作成資料

(3) 教科書見本本の発行者資料

〔資料9〕 令和6年度使用小学校用教科書

見本本の発行者別一覧

(4) 大阪府教育委員会作成による教科用図書選定資料

〔資料10〕 令和6年度使用教科用図書選定資料

3 調査研究の経過

選定委員会の開催日時・場所及び調査研究内容については、次のとおりであります。

(1) 第1回選定委員会

①日 時 令和5年5月19日（金） 午後1時から午後3時まで

②場 所 門真市教育センター 会議室B

③出席者 選定委員6名、事務局2名

④内 容

- ・選定委員の任命及び委嘱
- ・委員長、副委員長の選出
- ・諮問「門真市立義務教育諸学校教科用図書の選定について」
- ・令和6年度使用教科用図書採択に係る門真市立義務教育諸学校教科用図書選定資料作成要領についての審議
- ・教科用図書選定資料作成に係る調査員についての審議

(2) 第2回選定委員会

①日時 令和5年7月4日（火） 午後1時から午後5時まで

②場所 門真市教育センター 会議室B

③出席者 選定委員6名、事務局2名

④内 容

- ・門真市教科用図書選定資料、教科書見本本、大阪府教育委員会作成の教科用図書選定資料に基づき小学校「国語・書写・社会・地図・算数・理科・生活」について調査研究を行う。

(3) 第3回選定委員会

①日時 令和5年7月11日（火） 午後1時から午後5時まで

②場所 門真市教育センター 会議室B

③出席者 選定委員6名、事務局2名

④内 容

- ・門真市教科用図書選定資料、教科書見本本、大阪府教育委員会作成の教科用図書選定資料に基づき小学校「音楽・図画工作・家庭・保健・英語・道徳」について調査研究を行う。

(4) 第4回選定委員会

①日時 令和5年7月18日(火)午後1時から午後5時30分まで

②場所 門真市教育センター 会議室B

③出席者 選定委員6名、事務局2名

④内容

- ・答申内容について最終審議を行い決定する。

以上です。

(委員長)

今説明があった、まずはじめにのところについて何か質問等ございますか。

よろしいですか。

では、2つ目、調査研究関係資料のところについて何か質問等ございますか。

よろしいですか。

では、3つ目、調査研究経過のところについて何か質問等ございますか。

よろしいですか。

なければ事務局、続けてお願いします。

(事務局)

では、同じく4.選定結果、5.終わりに を読み上げます

4 選定結果

(1)選定結果については、資料1「令和6年度使用教科用図書選定資料」にまとめております。

(2)各教科書の特徴的な所見を「特記すべき所見」としてまとめております。

(3)評価項目(1.目標・内容の取扱い 2.人権の取扱い 3.発達段階への考慮 4.組織・配列 5.学び方の工夫 6.補充的な学習・発展的な学習)のうち、各教科書について特に優れている項目の番号を記載しております。

5 おわりに

現在、使用している小学校教科書は、今年で4年目を迎えますが、この4年間は、新型コロナウイルス感染症により、社会が急激に変化した期間でもあります。学校現場では、GIGA スクール構想のもと、一人一台のパソコンが配付されるなど、子どもたちが学ぶ環境やツールについても大きく変化いたしました。このような「これからの学び」においてもしっかりと活用される教科書を選定できるよう、調査研究の充実を図り、適正かつ公正で開かれた教科書採択を目指して、慎重に検討を進めてまいりました。

門真市教育委員会におかれましては、本選定委員会の答申を参考にいただき、教育委員会の責任と権限において、適切な教科用図書の採択をお願い申し上げます。

以上でございます。

(委員長)

こちらはいかがですか。

はい、無いようでしたら、以上の答申の諮問と先ほど決定いたしました選定資料を添付いたしまして教育委員会に対する答申資料ということで提出をいたします。

全体を通して大丈夫でしょうか。

(事務局)

1つだけ、確認でございます。この文言修正等、反映させたものを、その後、皆さんに確認いただく場がないので、それに関してどうするかこの場で決めて頂けると助かります。

(委員長)

例年はどうされてますか。

(事務局)

基本的には、委員長に委任をしていただくということになっております。

(委員長)

それでよろしいか。

(一同)

異議なし。

(委員長)

最後に、次第5です。今後の日程について説明の方をお願いします。

(事務局)

今後の日程について、ご説明させていただきます

今週中、遅くとも来週あたには、委員長より門真市教育委員会教育長へ答申していただきます。その後、7月31日(月)に教育委員会定例会が開催され、令和6年度小学校使用教科用図書採択について審議されます。なお、採択結果につきましては、門真市のHPや広報に掲載する予定をしております。

これまで、各委員の皆様には長時間にわたる調査研究ならびに4回の選定委員会においてご審議をいただきまして本当にありがとうございました。

選定委員の皆様には採択結果について事務局からお伝えさせていただく予定をしております。また、これまで、資料や議事録について、後日各委員さんへ郵送いたしますので、その内容等につきまして修正がございましたら、恐れ入りますがご連絡いただきま

すようお願いいたします。

事務局からは以上です。

(委員長)

それでは、最後です。5月より4回にわたりまして、慎重かつ熱心に選定に向けた作業や貴重なご意見を賜りまして、誠にありがとうございました。皆様のおかげをもちまして、このように答申を完成させることができました。選定委員長の私が責任を持って教育長に答申を手交させていただくということになっておりますのでよろしく申し上げます。これをもちまして、第4回門真市教科書選定委員会を終了させていただきます。皆様、どうもありがとうございました。

(一同)

ありがとうございました。